

# AT-103

コンパクトスマホホルダー  
両面テープ貼り付け

株式会社 **カシムラ**  
〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-9-28  
ホームページアドレス <https://www.kashimura.com>  
JAAVA 全国自動車用品工業会会員

## お買い求めになる前に

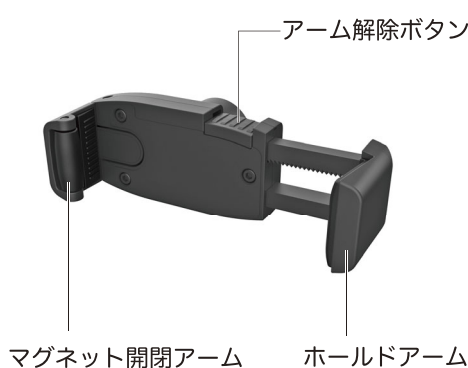
- 本製品は車内で使用するスマホホルダーです。
- 車種によっては取り付けできない場合があります。取り付け場所の形状やサイズ、素材、周辺状況等をご確認ください。
- 本革、合成皮革、布地、ウレタン、曲率の大きい曲面、大きな凹凸のある面には取り付けできません。
- 取付箇所やその周辺は取付跡が残ったり破損したり損傷する可能性があります。
- 本製品は幅70mm～90mm、厚み12mm、重量300gまでのスマートフォンに対応しています。お使いの保護ケースのサイズ、形状によってはご使用になれない場合があります。予めご了承ください。

## 特徴

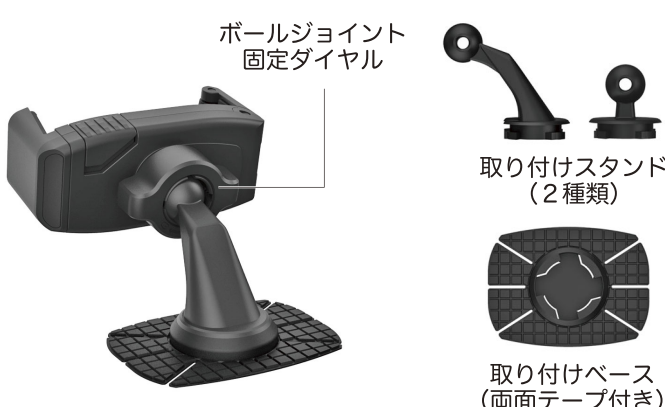
- 強力ネオジム磁石とゴム製ローラーを採用し、片手でスマホをスムーズに着脱できます。



## 各部名称



## 付属品

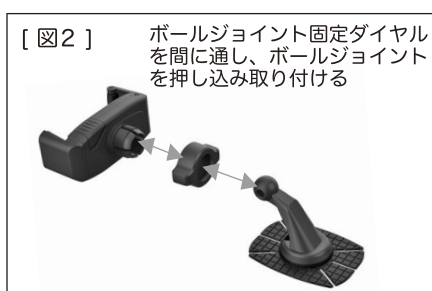
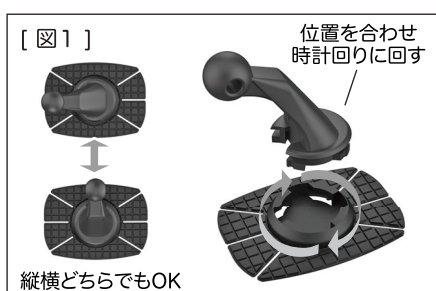


## ご注意

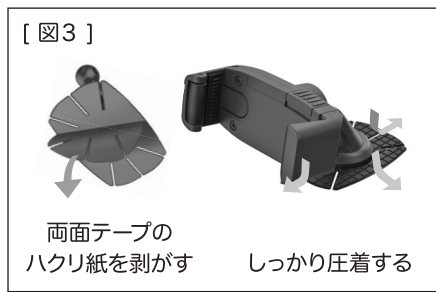
- 取り付けについてのお問い合わせには、お答えできない場合があります。予めご了承ください。
- 運転の妨げになる場所や危険と思われる場所、安全装置(エアバッグ・シートベルト等)の作動効果の妨げになる場所には取り付けしないでください。
- 運転者前方視界の妨げになる場所やフロントガラス、運転席・助手席のサイドガラス、及び三角窓への取り付けはおやめください。
- 走行中での本製品の調整・操作、スマートフォンの操作・通話・テレビや動画鑑賞は大変危険です。絶対におやめください。
- ご使用される前に、本体がしっかりと固定されているか確認してください。
- 車内温度が高くなる場合や取り付けが不完全な場合、両面テープの粘着強度が不十分になり、スマートフォンが落下・破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 車の急発進、急停車などの振動により本製品に装着したスマートフォンが落下・破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 保護ケースを装着していないスマートフォンを本製品にホールドした際、アーム部分とごすれてスマートフォンに傷がつく場合があります。予めご了承ください。
- 日中屋外に駐車する際は、サンシェードなどを使用して直射日光や紫外線を避けてください。
- 本製品を取り外した際、取り付け場所に日焼けや両面テープの跡等が残る場合があります。予めご了承ください。
- 本製品を正常にご使用中、変形などの不具合が起きた場合は、直ちにご使用をおやめください。
- 本製品の誤った取り付け、改造してのご使用等の事故・故障・破損等につきまして当社では一切その責任保証は負いかねます。

## ご使用方法

- ①本製品にスマートフォンをホールドした状態を想定して、貼り付けスペースや運転の妨げにならないことを確認し、取り付け位置を決定します。  
※取り付け場所に合わせて2種類の取り付けスタンドからお選びください。
- ②取り付けベースと①で選んだ取り付けスタンドを組み立てます。【図1】  
※取り付けベースは縦横どちらでも組み立てることができます。  
※カチッと音が鳴るまで時計回りに回して固定してください。  
※固くて手で回せない場合は、ボールジョイントの穴にドライバーなどを挿し込んで回してください。
- ③ホルダー部からボールジョイント固定ダイヤルを取り外し、図を参考に組み立てます。【図2】  
※ボールジョイントは強く押し込むことで取り付けることができます。



- ④貼り付ける場所の汚れや油分を拭き取ってください。レジャーワックス等が付いている場合は中性洗剤等で確実に脱脂してください。  
※ホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。
- ⑤取り付けベース裏面に貼られているハクリ紙を剥がし、取り付け面に沿わせるように圧着します。【図3】  
※両面テープ貼り付け後、24時間程度で固定が安定します。取り付け直後のご使用はお控えください。



## 簡単着脱ワンポイント

### 取り付け時



### 取り外し時



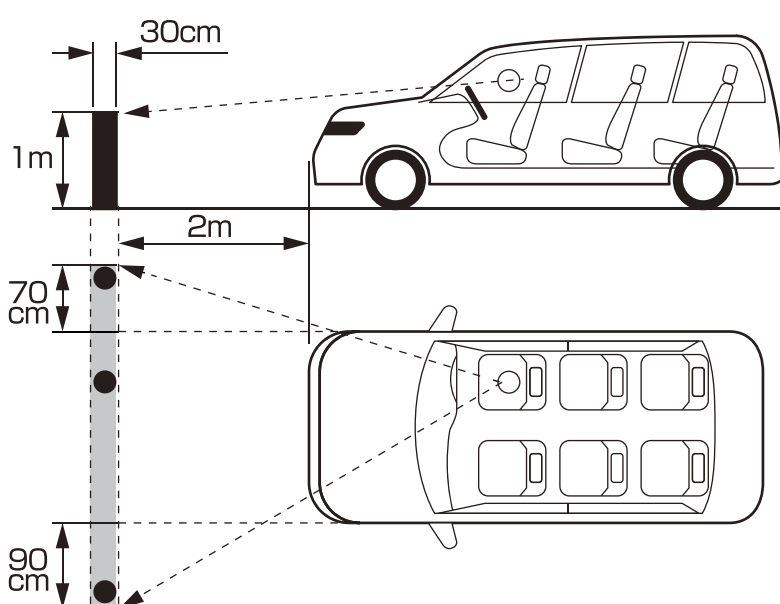
## 取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合、左右逆になります。

## 前方視界基準

### <基準概要>

自動車前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



## 直前直左視界基準

### <基準概要>

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。

